JHFレポート 199号 JHF
最新情報・バックナンバーは
ウェブサイトでご覧ください。
http://jhf.hangpara.or.jp
Japan Hang&Paragliding Federation　公益社団法人 日本ハング·パラグライディング連盟 発行

「パラグライダー舞鶴・神崎カップ2012」より。撮影：定行 賢三

一人ひとりが事故防止に真剣に取り組む。

JHF副会長　安田 英二郎

パイロットの高齢化と事故防止

2010年から2012年5月までの約2年半の間に、ハンググライダー（HG）、パラグライダー（PG）、動力付きパラグライダー（MPG）全てを合計して36件の事故がJHFに報告され、その中には14件の死亡事故が含まれていました。この36件の事故に関与したパイロットの平均年齢は56歳で、40代は6人、50代が12人、60代が11人、70代が2人でした。

経験を積み重ねると操縦技術は向上し、歳をとれば無理をしなくなるので、本来、ベテランは事故率が低いはずです。しかし、中高年パイロットによる事故が多発しているのが現状です。この原因の一つは、パイロットの高年齢化。つまり、現在、エリアで中心になって活動しているパイロットの年齢構成をそのまま反映しているのかもしれません。

また、気付かないうちに忍び寄ってきた身体能力の低下が事故の危険を高めているのかもしれません。

人の身体能力は20歳頃をピークに発達し、その後は加齢にしたがい低下していきます。体力、筋力、運動神経、反射神経、視力等の感覚機能、全ての能力が低下していくのです。体力が衰えればフライトによる疲労が大きくなり、長時間の飛行後は判断力が低下し

JHFレポートはスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

JHF事務局が移転しました！

旧事務所は耐震基準を満たしていなかったため、2011年12月5日に移転しました。　新住所：114-0015　東京都北区中里1-1-1-301
TEL.03-5834-2889　FAX.03-5834-2089

ているかもしれません。視力が低下すれば他の機体の発見が遅れるかもしれません。また、高齢化は、注意力、状況認識能力、判断能力、対応能力も低下させます。気付かないうちに他機がすぐそばにいたり、風を読み違えることも起きるようになるでしょう。

本来、安全性が高いはずの経験豊富なベテランパイロットによる事故が多いのは、加齢に伴う身体的能力の低下が影響している可能性もあるのです。自分はまだまだ大丈夫と思っていても、若いときよりも身体能力が低下していることは間違いないのです。それを理解して安全フライトを心がけましょう。

最近の事故から

JHFに報告された事故から、いくつか例をあげてみます。

1. 潰れ

パラグライダーの片翼が潰れたことをきっかけとして山中に墜落した事故が複数ありました。

片翼潰れに対する回復操作はパラグライダーの基本的な操縦技術ですから、操作の誤りが事故の原因とされるのが通常でしょう。しかし、経験豊富なパイロットによる事故であることを考えると、上級者でも回復困難な事態が生じたのかもしれません。そうすると、技術の誤りというより、むしろ気象条件や飛行コースに関する判断ミスが主な原因かもしれません。あるいは、たまたまパイロットが寝不足で判断能力や対処能力が低下していたことが影響したのかもしれません。

事故は最後の結果にすぎません。一つの事故が発生するまでには多数の事象が関係していることが多く、そのどこか一つを断ち切ることで事故は防ぐことができます。

今後は、事故の直接の原因となった点だけでなく、間接的な要因（事象）まで含めて事故報告を集積し、対策を進めていくことも考えていくべきだと思います。

2. アウトサイド

パラグライダーがランディング場まで行けずに、全く違った場所でランディングを試みて負傷したケースが複数ありました。パラグライダーは比較的狭い場所でも着陸が可能であることから、ランディング場に必ず着陸するという意識が低いパイロットがいるようです。

しかし、アウトサイドランディングは、パイロットが意識を変えるだけで防ぐことができる事故です。たとえばランディング場上空には高度200mを残して到達するなどの余裕をもったフライトプランが必要でしょう。

3. ツリーラン

ツリーランした後、パイロットが自力で降りようとして木から落下する事故も無くなりません。山沈の回収で、できるだけ他人に迷惑をかけたくないという気持ちはわかりますが、ツリーランで一回助かった命を危険にさらすことはありません。ゆっくり救助を待ちましょう。

4. 着水

モーターパラグライダーでは、海や川に墜落して水死する事故が目立ちます。ヒューマンエラーは不可避だという観点から、水上を低空で飛ばないという心がけだけでなく、フェイルセーフとしての救命胴衣の着用を推進することが不可欠でしょう。

事故を起こしたときの法律問題

ハンググライダーやパラグライダーで飛行中に事故を起こしたときは、刑事責任と民事責任という法律上の責任が発生することがあります。

刑事責任としては、飛行中の事故によって誤って他人の生命身体を傷つけた場合には、(重) 過失致死傷罪、スクールの場合は業務上過失致死傷罪に問われる可能性があります。

民事責任としては、故意・過失のある行為によって第三者の生命・身体や財産に損害を与えた場合には、不法行為に基づく損害賠償責任を負います。

具体的には、ケガした方の治療費、通院費、休業損害、ケガに対する慰謝料、後遺障が残ったときは、後遺障に基づく逸失利益や後遺障慰謝料等の損害賠償責任を負うことがあります。交通事故の例でいうと、重篤な後遺障が残り長期間の介護を要する場合には一億円を超える損害額になることも稀ではありません。

また、人ではなく物に与えた損害についても責任を負うことになります。一般的には物損は人損よりも低額になることが多いですが、テレビ放送のためのアンテナに接触した事故では一千万円単位の損害が発生しました。

フライヤーは、フライトするたびにこれだけの危険を負っているのです。フライヤー保険がなければ誰も安心して飛ぶことはできません。

誰のための安全か

事故を起こしたとき、一番先に被害を被るのは自分自身です。しかし、事故は他の人にも大きな害をもたらします。他人を傷つけた場合はもちろん、事故が報道され『危険なスポーツ』というイメージが広がれば、仲間のパイロットが迷惑を被ります。そして、事故のためにフライヤー保険の支払いが増えると、いずれは保険会社による保険引受の拒否もありうるのです。

昨年、公園で遊ぶ女の子にパラグライダーが接触した事故は、マスコミで大きく報道されました。飛ぶ者から見ると、強風下のランディングに失敗して、たまたま、そこに人がいただけなのかもしれません。しかし、被害者からみると、安全なはずの公園で遊んでいた女の子が、突然、空から落ちてきた物によってケガをさせられた事故なのです。地上にいる人の立場から考えると、全く予想外のとんでもない事故なのです。

このような事故の報道は、スカイスポーツに対する強力なネガティブキャンペーンになります。飛んでいる仲間は迷惑をし、新しい仲間を増やすことが難しくなります。エリアの高齢化はスカイスポーツを始める若い人たちの減少が原因ですが、事故はさらに普及を妨げるのです。フライトのため、仲間のため、普及のため、事故の防止に真剣に取り組んでいきましょう。

安田 英二郎
JHF副会長。会長とともに連盟代表理事を務める。1986年にハンググライダー初フライト。ハング・パラグライディングの普及と安全性向上のために活動したいとJHF理事に。

JHFの動き

役員選任実行委員を引き続き募集します

前号でもお知らせしたとおり、JHF役員選任規約に基づき、役員選任の事務を実施する役員選任実行委員会の委員を募集しました。応募締切りの7月23日までに下記2名のご応募があり、7月31日理事会にて委員として選任しました。

島野広幸（神奈川県）
鈴木由路（東京都）

委員会の定員は3名以上5名以下のため、引き続き委員としてご協力いただける方を募集します。

応募される方は、JHFウェブサイトのトピックス「役員選任実行委員募集」（6月22日掲載）から応募用紙をダウンロードし、ご記入のうえJHF事務局宛にメール添付か郵便にてお送りください。応募用紙のダウンロード不可の方は、お手数ですがJHF事務局にご連絡ください。お問い合わせもJHF事務局まで。

県連体験会後援申請料を引き下げました

都道府県連盟主催（またはそれに準ずる）のハンググライディング・パラグライディング体験会をJHFが後援する場合、主催者賠償責任保険にJHFが加入、保険料を負担します。

通常の後援申請料は15,000円ですが、県連体験会は8,000円に引き下げました。体験会をご計画の都道府県連盟は、後援の申請をご検討ください。申請・お問い合わせはJHF事務局で受け付けています。

教員・助教員の皆様へお知らせします

■教員・助教員技能証申請料改定

このたび、理事会は、教員技能証及び助教員技能証の新規申請、更新申請における申請料を、それぞれ1,000円とすることを決議しました。

JHFでは昨年、総会における教員技能証更新申請料引き下げの提案を受けて、教員技能証更新の申請料を、それまでの10,000円から5,000円に引き下げましたが、フライヤー増加のために現場で活躍されている教員、助教員の方々を応援し、更なる普及を図るために、重ねての引き下げを決議しました。これにより、申請料が10,000円であったときから比較すると、JHFとしては百万円以上の減収となります。しかし、現在の財政状況を前提とすれば、この減収には耐えられますし、教員、助教員の方々の増加、そして熱心な活動によりフライヤー人口が増えることを期待しています。

■教員・助教員更新講習会開催

教員技能証、助教員技能証の有効期限は3年間です。この年末で期限が切れる皆様には既にご案内していますが、更新申請には、更新講習会の受講が義務付けられています。

現時点での更新講習会開催の予定は下記のとおりです。他でも開催が決まり次第、JHFウェブサイトにてご案内します。ご都合がつく会場にて受講されるようお願いします。

また教員・助教員更新講習会は、一般フライヤーの方もご参加いただけます。ご希望の方は下記に直接お問い合わせください。なお、受講料5,000円のほかエリア使用料等がかかる場合があります。

◇神奈川県
11月9日（金）8:30〜18:00
開催場所：パラフィールド箱根
主催／問合せ・申込先：神奈川県ハング・パラグライディング連盟
TEL.0465-63-1364

◇静岡県
11月29日（木）9:00〜15:00
開催場所：スカイ朝霧
主催：静岡県フライヤー連盟
問合せ・申込先：ヘリグライド株式会社（担当：目黒）TEL.0557-67-1900

スカイスポーツシンポジウムに協賛します

年に一度のスカイスポーツシンポジウムに、JHFは協賛団体として参加しています。

第18回を迎える今年は、12月8日（土）、日本大学理工学部のホールで開催。人力飛行機や模型、曲技飛行など、興味深い講演が予定され、パラグライダーやハンググライダーの飛行理論を取り上げた講演もあります。お気軽にご参加ください。

主催：日本航空宇宙学会
共催：日本航空協会
日時：12月8日（土）　9:50 〜 18:10
　　途中入場もできます。
会場：東京都千代田区駿河台1-8
　　日本大学理工学部駿河台校舎
　　1号館6階CSTホール
参加料：2,500円
（学生2,500円　高校生以下500円）
問い合わせ：日本航空宇宙学会
TEL.03-3501-0463
http://www.jsass.or.jp/

日本航空協会

「空の日」の表彰式

9月20日（木）の「空の日」に、東京都新橋の航空会館で、日本航空協会の航空関係者表彰式が行われました。

長年にわたり航空の発展に尽力され数え年90歳を迎えた方の長寿を祝福する航空亀齢賞をはじめ、航空功績賞、航空スポーツ賞の表彰、日本記録証の授与がありました。また、国際航空連盟（FAI）賞の伝達があり、スカイスポーツ発展などに顕著な功績のあった方々の受賞が発表されました。

受賞者と祝福する人でいっぱいの会場。

日本学生フライヤー連盟

鳥取砂丘合宿に150人参加

9月4日（火）から7日（金）まで鳥取砂丘で行われた日本学生フライヤー連盟関西支部主催の「鳥取砂丘合宿」に、スタッフを含めて、ハンググライダーとパラグライダーあわせて約150人が参加。4日間晴天に恵まれ、練習、除草作業、グラハンレースなどのミニ大会を行い、無事終了しました。

JHF SIVトレーニング

報告：JHF安全性委員会　委員　伊尾木浩二

2012年度JHF SIVトレーニング
開催場所：
長野県大町市木崎湖エリア
SIV指導：目黒敏（メイン）、伊尾木浩二（サブ）
座学講習：目黒敏、伊尾木浩二
テイクオフディレクター：岡芳樹
送迎運転手：森春雄
ビデオ撮影：安田隆宏
トレーニング内容：
□基本スタイル　ピッチング
□基本スタイル　ローリング
□ビッグイヤー
　1）両端潰しのみ
　2）アクセル併用
□Aストール
□対称フロントコラップス
　1）ゆっくりと引きこむ
　2）通常の引き込み
　3）強く引きこむ
　4）アクセル30%、50%、70%、100%
□Bストール
□非対称フロントコラップス（片翼潰し）
　1）ライン引き込み、直進飛行維持
　2）ライザー引き込み、直線飛行維持
　3）ライザー引き込み、回復動作
　4）ライザー引き込み（ブレークコード離す）、回復動作
　5）アクセル30%、ライザー引き込み、回復動作
　6）アクセル50%、ライザー引き込み、回復動作
　7）アクセル70%、ライザー引き込み、回復動作
　8）アクセル100%、ライザー引き込み、回復動作
□フィギュアエイト
□ストールポイントの確認
□フルストール
□スパイラル
　1）2回転まで
　2）3回転まで
□SAT
□ウイングオーバー
□テールスライド
□ヘリコプター

9月7日～9日の3日間、長野県大町市の木崎湖で、SIVトレーニングを開催しました。毎日天候に恵まれ、2日目のみ途中で風が強くなりキャンセルになったものの、参加者の平均フライト本数は1日目6本、2日目3本、3日目6本で、十分なトレーニングが行え、良かったと思います。

今回は昨年度SIVトレーニングと違い、座学講義環境も整え、ビデオ映像による勉強会を実施しました。そのため、それぞれのフライトを振り返り、参加者全員で、より多くのグライダーの動き、操作性、ハーネスによる影響、緊急パラシュート開傘などを見て、学べたものと思います。また、機体の潰れによる姿勢の大きな変化について、ハーネスのセッティングを含めて学ぶことも大きかったと感じられました。

報告されたパラグライダーの事故で最も多いのは、潰れによる墜落です。その潰れによるグライダーの挙動を知ること、理解することが今回のSIVトレーニングの第一の目的でした。

左右対称潰し、非対称潰しを、最初はラインを引き込んで行い、翼の動きに慣れてきたら、ライザーを引き込んでより大きな挙動を体験。ブレークコードを離して、より俊敏な翼の動きをつかみ、アクセル30%、50%、70%、

無線で操作の指示をする目黒インストラクター。

ポッドハーネスと機体挙動の関係は今後の課題。

胸にフロートを付け着水。すぐにボートが迎えに来る。

3日間、たくさんトレーニングができて笑顔の参加者・スタッフ。

100%のときの潰れなど、1本のフライトでも最低実施高度になるまで、たくさんの潰れのトレーニングを実施し、挙動の違いを実感しました。

今回のSIVトレーニングは指導者として学ぶことも多く、機材の問題点などを含めて新たな発見がありました。この発見も活かして、安全にSIV指導をするためのマニュアル等もこれから作っていきたいと考えています。そして、ドイツ連盟（DHV）が実施しているSIVの指導方法、リスクマネージメントなどについても細かく話し合い、来年度はより完成度の高い内容にしたいと思います。さらに、参加者のリスクを減らし、より充実した内容の指導ができるようにしていきたいと考えています。

また、このSIV指導を基に、スクール教習方法の見直し、追加すべき内容などを研究検討していくことによって、より安心して指導できる環境作りに役立てればと思います。

今回、特に強く感じたのは、ポッドハーネスによる挙動が想像を上回る動きを起こすことです。近年はポッドハーネスの利用者も増加しています。DHVもポッドハーネスによる危険性は認識しており、今後の課題として、ポッドハーネスについての情報収集に力を入れていきたいと考えています。

●環境が整わない状態でのSIVトレーニングは危険です。トレーニング希望の方は教員にご相談ください。また、来年度SIVトレーニングの予定はJHFウェブサイトでご案内します。

フルストール

●注意

機種、クラス、ハーネスにより挙動は変わります。クラスが上がれば、回復時のオーバーシュートは強くなりやすくなります。失速に入った瞬間に慌てて両手を上げると大きなシューティングが二次的なアクシデントへつながりやすくなります。常に翼と対地高度を確認しながら、手の操作はゆっくり行うことが必要となります。ポッドハーネスでは、失速に入った瞬間の体の動きがより激しくなるので、膝は曲げた方が挙動は減ります。

①通常滑空。

②両方のブレークコードを徐々に引き込んでいく。

③ストール（失速）に入る瞬間。両翼端が後方へ移動しはじめる。

④翼が後方に移動し、ストールに入る。

⑤ブレークコードをしっかりと引き込んだままキープ。

⑥これから回復動作。一気に戻さず徐々に手を上げていく。

⑦翼が頭上付近に戻ってくることを確認するまで、両手をゆっくりと上げていく。

⑧翼が頭上付近に戻ってきたことを目視で確認。

⑨頭上付近で翼が安定してきたら、さらにゆっくりと両手を上げる。

⑩翼が頭上を越えて回復する瞬間。

⑪軽くオーバーシュートして通常滑空に。

やった！　アドレナリン全開後のVサイン。

SIVトレーニングに参加して

梅迫賢一
丹波パラグライダークラブ　教員

昔やったことがあっても積極的にはやりたくない練習が、湖の上で安心してできました。

しかし落ちるつもりでなかったトレーニング項目で不覚にもツイスト、考える間がなくダイブして開傘して湖に落ちました。次は体が振られても落ち着いて機体を立て直せられたのが収穫でした。もし大潰れが起こっても冷静に対処できそうです。

最後は念願のロガロタイプのレスキューパラシュートの開傘、キャノピーの切り離し、操縦が試せて良かったです。

アドレナリン出まくりの充実した3日間でした。くせになりそうです。

下村孝一
大平スカイクラブ

湖面が波立つ。それは、私の胸の震えであった。

こわい。とにかく怖い。フルストールとスパイラルを希望したのは間違いだったか、と悔やんだ。一本目、強張った体は肩に力がはいる。ローリングさえ満足にできない。まるでピノキオが操作をしているようだ。だが、間を置かず次々に畳み掛ける無線の指示は、恐怖を感じる隙を奪った。

3日間・飛行数12回、与えられた訓練課題は55本を数える。ハーネスに押しつけられたスパイラルの遠心力、後ろへ腰から落ちて行くフルストール……集団訓練の力が、私に55回もの貴重な体験を与えてくれた。

既に吸収力の落ちた72歳の老骨だが、この体験が日常のフライトに影響しない筈はない。来年も受けよう。反復の訓練をすれば、老春の時間を少しだけ延長できそうな錯覚と希望に包まれた。講師と仲間のみなさん、ありがとう。

西谷健太郎
ウエストジャパンパラグライダースクール

まずは、目黒さん、伊尾木さん、岡さん、そしてSIVトレーニングに参加されたメンバーの皆様、3日間本当にありがとうございました。初めて木崎湖へ行きましたが、コスプレの別嬪さんが現れたりロケーションも良く、素晴らしいエリアですね。トレーニングも前日のレクチャーから始まり最後まで楽しく過ごせました。

私自身10年程のフライト歴の中で、ピッチング、ローリング、両翼端潰し、片翼潰れぐらいしか経験したことがなく、今回SIVトレーニングに参加できたことは本当に意義あるものになりました。

パラグライダーを始めたときからアクロにも憧れていました。ストールやコラップスでは最初恐る恐るライザーを引いていました。普段翼が潰れないように心がけているので、自ら潰すということに怖さがありましたが、徐々に慣れて、最後には調子にのり100パーセントアクセルのフロントコラップス、これは爽快でした。

そして私自身も酒コラップスしてしまいました、すみません。

念願のスパイラルも上手くできたような気がしますが、あんなに激しいGがかかるとは……。スパイラル中の私の顔は、誰が見ても爆笑できるくらいひきつった顔をしていたと思います。

SATは完璧にはできなかったけど、次はできそうです。そしておまけにスピン！　これはSAT導入に失敗した結果からのスピンですが、なんとかリカバリーできたことがこれからのフライトの安心感につながると思います。

内容の濃い充実したトレーニングでした。次回も是非参加したいです。

ロガロ式緊急パラシュート開傘

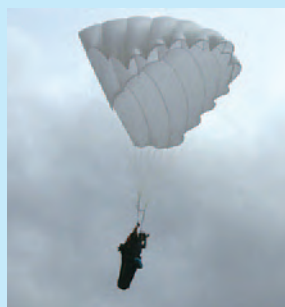
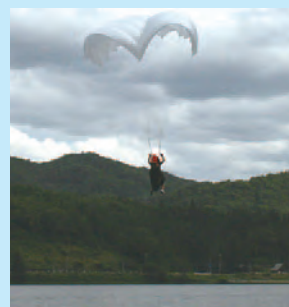
●注意

ロガロ式のパラシュートを開傘させた場合、パラシュートが開くと指向性のあるロガロは滑空に入ろうとします。その時、潰れた機体はロガロより後方になるため、パイロットも後方に引っ張られます。つまり、滑空方向とは真逆となるので、機体の回収またはリリースが必要となります。ヨーロッパではリリースが一般的に指導されているようです。

①通常滑空。

②緊急パラシュート放出。

③パラグライダーをリリース。

④リリースしたパラグライダーが先に落下していく。

⑤ロガロ式パラシュートで滑空。

⑥着水の準備。

整備された機体で存分にフライトを。

自他の安全がかかっているから

JHFレポート前号に「機体整備の重要性」という記事を掲載しました。筆者はJHF安全性委員会の一員であり、ハンググライディング競技のトップパイロットであり、機体輸入販売に携わる大門浩二さんです。その記事内で大門さんは次のように言っています。

「機材の整備は安全管理の第一歩とも言えます。フライヤー各自、機材の所有者が責任を持って維持管理・整備して運用していくことによって安全な飛行の準備が整うのだということを強く認識してください」

航空機には整備について厳しい決まりがあります。整備する人も操縦する人も『安全運航』が基本。フライト毎の点検から整備工場で時間をかけて行う整備まで、マニュアルに則り細心の注意を払って行われます。それは旅客機も小さな自家用機も変わりません。なぜなら、搭乗者の命だけでなく、地上にいる全ての人や物の安全、空中の他機の安全がかかっているからです。

機体整備で不安を取り除く

自分の安全だけではなく他者の安全を第一に考えることは、ハンググライダー・パラグライダーでも同じです。

「整備不良で墜落したとしても、自分が痛い思いをするだけ。物を壊したらフライヤー保険で補償できるし、第三者に迷惑はかけない」と思っているあなたは、きっと腕に自信のあるパイロットでしょう。でも、この機にゆっくり考えてみてください。あなたは心身ともに絶好調で常にその同じ状態を維持しているでしょうか。

そのような人が、いるはずがありません。賢い人、注意深い人、責任感の強い人､いろいろな人がいます｡しかし、常に同じ状態を保つ金太郎飴のような人はいません。前号記事で大門さんが「人間はミスを犯す生き物だと思っていなければなりません」と書いているように、どんなに優れたパイロットでも、体調が整っていないときや精神的ストレスを抱えていることがあり、そのようなときには、ミスをしやすくなります。そのミスがどこでどのようなタイミングで発生してしまうか、どのようにミスが重なり事故になってしまうか、誰にもわかりません。

ミスをするリスクを小さくするため、また万一のミスをしても自他のダメージを抑えるため、そして楽しいフライトのため、心身の調子を整え、機体の調子を整えましょう。信頼できない機体でのフライトは、心底楽しいものになりようがありません。

定期的なオーバーホールだけでなく、うっかり機体を落としてしまったり、クラッシュなどで機体に衝撃を与えた場合も、細かな点検整備やチューニングをする必要があります。ただし、機体の整備や修理は、生半可な知識や技術でできるものではありません。専門の知識や経験を持つ教員か機体購入先にまず相談しましょう。

不安のある機体では、安全で楽しいフライトはできません。事故を起こしてから後悔するより、いま、不安を取り除くための行動を！

整備の記録を残して安全に。

JHF安全性委員会

いつでも整備経歴がわかるように

皆さんは自分の機体の整備記録を保管していますか？

ハンググライダーやパラグライダーの機体の安全性を維持するために、適切な整備・修理作業は欠かせません。そして、その作業記録を機体と共に保管しておくことは、使用者であるパイロットにとって大切なことです。

しかし、これまで整備・修理の作業記録が運用されることはほとんどありませんでした。過去にどのような整備･修理作業をしたかは、使用者の不確かな記憶が頼り。中古機として譲渡され使用者が変わると、どのような整備・修理作業をしたのかが不明となることが多くあります。機体の来歴がわからず、潜在的な危険性が疑われる例もあります。

機体の取扱説明書に整備記録の欄が設けられている場合もありますが、この整備記録が運用されることはまずないでしょう。これには、常に機体と一緒に整備記録を保管しておくことが難しいという現実的な問題があります。

そこで、新たなシステムとして、ハンググライダーに貼付する簡便な整備票ステッカーをJHFが作り、整備・修理を行った際にその記録を機体と一緒に残せるようにしました。機体への貼付場所は、クロスバーのノーズ側・センター寄りとします。作業ごとに貼付し、重ね貼りはしません。

この整備票ステッカーに記入し機体に貼付するのは、輸入者を含む機体メーカーとその認定作業者、教員などの中から安全性委員会が指名する「整備作業者」です。

整備詳細を記録簿に記す

整備作業者は、整備や修理を行ったら､整備票ステッカーに所定の事項（整備・修理の概略）を記入して、機体に貼付します。また、同時に整備記録簿ファイルを作成、詳しい整備内容を記入して保管します。

整備記録簿のモデルフォームは、JHFウェブサイトの「安全性委員会」ページに掲載する予定です。

せっかくしっかりした点検を受けても、それがいつだったかはっきりしない機体では、やがて潜在的な危険性を抱えることとなります。ましてや誰がいつどのように修理したのかわからないようでは、もっと問題です。機体の整備票ステッカーが積極的に利用されて、パイロットの皆さんが、より安心して安全にフライトを楽しめることを望みます。

ハンググライダー整備票ステッカー。

映像で日本の空を元気に！

第1回JHF映像コンテスト入選作品発表

最優秀賞

「鳥になる夢」

十河　学

広島でハンググライダーを、石垣島でパラグライダーを教わり、現在は石垣島で飛んでいます。WEB：http://discoveryaima.com、http://www.pawana.jp、http://www.aoqua.com

栄えある最優秀賞をいただきありがとうございます。子供のころからの夢、空を自由に飛んでみたいというおもいが伝わる映像を作りたいと応募しました。映像を見て空からの美しい世界を体験してみたいと思う人がいれば嬉しいです。石垣島とオーストラリアの映像です。映像撮影など協力いただいた方々に感謝します。

[審査員評]

◇1分の中にストーリーがあって完成度の高い作品です。恐らくこの作品なら、パラグライダーの素晴らしさを誰にでも伝えることができるでしょう。今回の映像コンテストに最も合致したクオリティの高い作品です。[佐野]

◇子どもの笑顔はズルいとしか言い様が無いわけですが、そこから物語に入り込み、見終わった後に心がすっかり温まっていました。すぐにもう一度再生し、その後も何度も繰り返し見た作品です。[赤錆]

ショート部門優秀賞

「You Can Fly」

相川 瑞華

大学3年生、板敷エリアでハンググライダーで飛んでいます。スクールはWIND SPORTS、東京農工大学を中心とするFlying Chickenという部に所属しています。

所属しているハンググライダー部の先輩からコンテストについて知り、部の活動を動画にまとめていた経験を活かし、応募しました。作品の狙いは、ハンググライダーをかっこいいと思ってもらい、新入生に入部してもらうこと。当時は山飛びして半月のハンググフライヤーでしたが、自分が感じたハングのかっこいいと思う要素や魅力を詰め込みました。

[審査員評]

◇部活の新入生勧誘ビデオを、真剣に、映画の予告編の雰囲気を出そうと努力している所が良かったです。高価な撮影機材や編集機材がなくても背伸びをして映像を作るんだと言う意気込みを讃えたいと思います。[佐野]

◇作りは粗いですが、ハンググライダーで夢を叶えよう！ということは伝わってきます。作り手の持つ熱が作品から湧き出してきており、そこに心奪われました。[赤錆]

ロング部門優秀賞

「Sky Walking」

井上 卓郎

長野県で自然やスポーツのゴキゲン映像を作っています。ホームページ http://happydayz.jp

普段は山の映像を作っているのですがフィールドジョイさんからお誘いを受け作ってみました。他のスポーツにはないパラグライダー特有の浮遊感を表現してみました。飛ぶだけでなく雰囲気も含めてパラグライダーの楽しさを感じてもらえれば幸いです。

[審査員評]

◇応募作品の中で、最も撮影、編集の技術に優れた完成度の高い作品です。パラグライダー、そして飛ぶと言うことを熟知したプロの作品であり、文句のつけようがありません。[佐野]

◇映像のお手本のような作品。いつまでも見続けたいと思える魅力は、構成の良さ、画の良さ、音と画のリンク、全てが揃っているからでしょう。パラグライダーをやっている人は、まだやったことの無い人にパラグライダーってこんなに楽しいんだよと自慢したくなる、そんな作品でした。[赤錆]

総　評

驚くほど美しい空撮

審査員　佐野 伸寿

応募された全作品のクオリティが高く驚かされました。パラグライダー、ハンググライダーでの空撮がこんなに美しいものなのかと改めて驚かされました。ヘリコプターや飛行機にスタビライザーをつけて撮影した映像よりも遥かに美しく、映像技術に革新をもたらすすごいことを応募された皆様がおやりになっているのかもしれません。

今回はパラグライダー、ハンググライダーの普及に役立てられる映像というコンセプトで作品を選考したため、上記の結果となりました。ただ、これらの作品が全てに優れているという訳ではありません。特に完成度の高い作品ほど、著作権フリーの音楽を使っていたりします。せっかく映像は驚くほど奇麗に撮影できているのですから、音にも気を配っていただければよろしいかと思います。

選ばれなかった作品の中でも、天空で聞こえる音の美しさに溢れた作品も多くありました。安っぽい音楽を使うよりも、現場音を効果的に勇気を持って使うということにも留意していただければ、より良い作品が誕生するものと思います。是非頑張っていただければ幸いです。

SANO Nobutoshi（STUDIO-D JAPAN）

製作・監督・脚本を手がける。1971年に子役として映画人生のスタートを切る。96年、独立間もないカザフスタン共和国で「ラストホリデー」を製作。同作品が東京国際映画祭、ロッテルダム国際映画祭で東京ゴールド賞、タイガーアワード賞を受賞。映画制作の現場に復帰。以後カザフスタンで4作品を製作。いずれも海外の映画祭で高く評価される。2000年東京国際映画祭クリエーターズフォーラムに脚本処女作『ある日、アメリカが戦争を始めて』を日本カザフ共同製作3部作として

【発見! 飛ぶって最高!!】をテーマに、空を飛ぶ楽しみを伝えられる動画を募集。
第1回は30作品が寄せられました。入選映像はJHFウェブサイトでご覧ください。

入選

「HAPPY SMILE FLIGHT!」
十河 真弓

7年前に石垣島へ移住。旦那（最優秀賞の十河学さん）の紹介で翌年から八重山スカイスポーツクラブでパラグライダーを始めました。石垣島とオーストラリアでしか飛んだことがないので内地でも飛んでみたいです！　WEB：http://www.aoqua.com、FACEBOOK：http://www.facebook.com/aoqua

石垣島明石パラワールドでは、毎年子供の日にパラグライダー親子体験イベントが行われます。今年は絶好の風に恵まれて子供達の笑顔が青空に舞いました！　観光で来ていた姉も校長先生のサポートでグラハンに初挑戦！ピースサインで「飛んじゃうかもしれません？！」とわくわくドキドキする気持ちが伝わってきます。子供達が成長し未来の石垣島の大空に色とりどりのグライダーの花を咲かせてくれる願いを込めて。

[審査員評]
◇見ていてワクワクしてくる作品。これを見れば誰もがパラグライダーをやってみたいと思えるんじゃないでしょうか。僕も飛びに行きたい衝動を抑えるのが大変でした。こんな素晴らしい景色のところで一度は飛んでみたいです。[赤錆]

入選

「2012無料体験」
横田 三郎

泉が岳パラグライダークラブ&スクールで飛んでいます。ユーチューブhttp://www.youtube.com/user/yokotasaburo?gl=JP&hl=ja、ブログhttp://skipara.wordpress.com/

宮城県連恒例の無料体験会が「泉が岳スクール」「ホワイトテラススクール」「サンライフスクール」の3カ所で5月下旬から6月上旬の延べ6日間実施され、泉が岳スクール体験会の模様を編集投稿。今シーズンはお天気にも恵まれ大勢の体験者で賑わい、最高齢83才(男性)の方から飛び入りの外国人カップルまで、果敢に浮遊感を楽しんでもらいました。初体験でも飛べると言うことが口コミで広がる期待を込めて。

[審査員評]
◇全くパラグライダーを知らない人が、パラグライダーに初めて触れる瞬間の感動が込められていて、好感の持てる作品です。[佐野]
◇フライトしている画を使わずに、パラグライダーって楽しいんだと言うことをこれほど伝えられる作品を僕は他に知りません。そこにいる誰もが心から楽しんでいるというのが映像を通して伝わってきます。[赤錆]

審査員特別賞

「パラホーキング」
横田 三郎

泉が岳パラグライダークラブ員5名でネパールへフライト旅行、エリアはポカラにあるサランコット。「パラホーキング」なるタンデムでの鷲の餌付けを見て、ここでしか経験できないと思い早速申し込んだ。この様な猛禽類と一緒に飛べ、更に自分の手で10回餌付けできることに感動しました。貴重な体験でした。

[審査員評]
◇私が最も感動した作品です。クオリティが高い訳ではありません。でもこの作品には、今回の応募作品の中で最も印象に残る力があります。今回のコンテストの趣旨からすると、ホーキングに重点が置かれているという点で、部門賞、最優秀賞の中に入れることはできませんでしたが、そのインパクトの強さで審査員特別賞を贈りたいと思います。[佐野]
◇映像のインパクトとして最も心に残った作品。鳥と共に飛ぶという誰もが持つ夢を叶えていることに驚き、そして羨ましくなりました。[赤錆]

出品し、奨励賞を受賞。
2011年製作「春、一番最初に降る雨」ユーラシア国際映画祭グランプリ（最優秀作品賞）。他の作品も高い評価を得ている。

個性があり心踊る作品
審査員　赤錆 健二

今回、ハンググライダー・パラグライダー合わせて30作品でしたが、それぞれ個性ある作品で、興味深く審査できました。

映像は1枚の写真よりも多くの部分を直接的に語ることができるものです。上手く行けば、自分の言いたいこと、思っていること、感じていることを確実に他人に伝えることができます。画作りだけでなく、カット割りや音楽、構成などがそれを助けてくれます。それをもう少し頭に入れ作品作りをすればさらに良い作品を作ることができると思います。

今回入賞作となった作品には、見れば誰もがハンググライダー、パラグライダーに興味を持つのではないかと思える魅力があります。ただの映像の切れ端ではなく、作った人の感動や喜びが伝わってくる、見ていて心が踊る素晴らしい作品でした。

AKASABI Kenji
日本大学芸術学部写真学科を卒業後、株式会社アマナにて広告制作を行う。
2004年より映像制作を始める。
テレビ番組制作：Grace of Japan〜自然の中の神々〜（BS JAPANにて現在放送中）、MTV、Space Shower TV、テレビ東京、IMAGICA TV、メ〜テレ、他
Music Video制作：ポルノグラフィティ、THE BACK HORN、TOKYO NO. 1SOULSET、他
その他：ショートムービー Luha sa desyerto、マルボロ Web Movie、Canonデジタルビデオカメラ iVIS CF、ワーナーミュージック「Beautiful songs」spot、ワーナーミュージック「I Love You」spot、他

写真で日本の空を元気に！

第2回JHFフォトコンテスト入選作品発表

優秀賞（共通）「空を夢みて！」

加藤 文博　撮影地：兵庫県丹波市青垣町

眩しい太陽の下、自然の中で翼を広げて飛ぶ練習も楽しい。飛ばなくたって面白い。ちょっとテクニカルなグランドハンドリング。みなさん夢中で遊ぶ子供のような感じが気にいってます。［加藤］

［審査員評］

◇おなじみ加藤さん、見事な構図です。レンズの選び方もいいですね。被写体の女性がなぜタイヤの上に乗っているのか、すごく気になります。天気の良さ、カラフルなパラが楽しげな雰囲気を醸し出していますね。［嘉納］

◇真っ青な空の下に、色とりどりのキャノピー。全体的に色が鮮やかで、見ていて気持ちのいい作品となっています。手前の女性だけ体がこちらを向いているのも良いですね。タイヤに乗ってバランスをとっているのがとても楽しそうです。パラグライダーが好きな気持ちが伝わり、とても好印象です。［山本］

優秀賞（共通）「海風を受けて」

平田 晃一　撮影地：岡山県渋川海岸

私は主に地元岡山の風景を撮影しています。いつもの見慣れた風景も舞っているだけで絵になる、そんな魅力的な被写体がパラグライダーです。その魅力をもっと引き出せるように精進していきたと思います。有難うございました。［平田］

［審査員評］

◇夕暮れ時の海岸、沖に見える大橋、砂浜の陰影とロケーションは最高。パラ上部が少し照らされ、三日月状の影がそっくりフレームに入っているのはよく計算されています。とてもきれいな写真ですが、左右対称すぎるので何かもう一声ほしいところです。［嘉納］

◇真上に立ち上がったキャノピーと砂浜に写った影にはさまれて、夕日に照らされた海面の光の中にシルエットとなった操縦者が写っています。砂浜に他に何もないのがいいですね。典型的な日の丸構図ですが、だからこそおもしろい作品となっています。［山本］

パラやハングが多くの人の目に触れることが普及のために必要だとフォトコンテストを開催。
第2回は248点の力作が集まりました。審査員評全文はJHFウェブサイトに掲載しています。

優秀賞（空撮）「空中散歩」

加藤 文博　撮影地：兵庫県丹波市岩屋山

タンデムフライトで空を飛ぶと、その爽快感で皆さん会心の笑顔になります。空中で足を動かし肌で風を感じる。やっぱりパラグライダーの魅力ですね。私たちタンデムパイロットもこんな瞬間が嬉しいですね。［加藤］

［審査員評］

◇はじめて空を飛んだ！ような楽しさが伝わってきます。被写体の選び方も適確。惜しむらくは背景が平凡すぎることでしょうか。これぱかりは運もありますが、それさえクリアすれば最優秀を取れたのではないかとさえ思います。次回は誰も見たことのないアングル、感動的な写真を期待しております！［嘉納］

◇よくある構図ですが、カメラの向き、パッセンジャーやラインの位置などが良いバランスです。何よりお客さんの爽やかな笑顔で、パラグライダーで飛ぶ楽しさを伝えられる作品となっています。［山本］

優秀賞（空撮）「厳寒の空」

近　洋平　撮影地：北海道サロマ湖上空

社会人になって始めたモーターパラグライダー。モーターのメリットを生かした空撮をと思い、冬期結氷したサロマ湖上からテイクオフ。マイナス25℃以下の極寒のなか、運良く接岸していたオホーツク海の流氷とグライダーのコラボを撮ることができました。［近］

［審査員評］

◇飛んだ場所の勝利です。影もきれいに写りこみ、寒そうなのにのどかな雰囲気がいいですね。この先はどんな風景なのか？どこを飛んでいくのか？続きが気になる写真です。大自然と人間と科学をダイレクトに表現しているように感じます。［嘉納］

◇限られた地域でしか見れない景色をバックに、うまくモーターパラグライダーを入れて写しています。これだけ寒い中で飛ぶにはかなりの防寒が必要で、グローブもかなり厚く、空中でのカメラの操作も難しいはずです。気合いの入った一枚です。［山本］

地上　ハンググライダー賞「秋空へテイクオフ」

山田 宏作　撮影地：宮崎県都城市

[審査員評]
◇太陽を背に飛び出すハンググライダー、それを見守る人々…青い空、エッジの効いた木の影。それよりも何よりも気になったのが右手に持ったコンビニ袋のような袋(笑)。ハンググライダーでちょいと買い物に、といういでたちが笑いを誘いました。座布団三枚差し上げたいです。[嘉納]
◇飛び立つハンググライダーをうまく下から捉えました。あえて逆光での撮影で太陽の光を活かしていますが、フラッシュを使って日中シンクロさせてもおもしろかったかもしれません。ハンググライダーの作品は少ないので、次回の作品も楽しみにしております。[山本]

地上　パラグライダー賞「お供を連れて」

渡辺 芳子　撮影地：福島県田村郡小野町　夏井千本桜

[審査員評]
◇なんとも季節感にあふれた楽しい写真です。小川に映った桜のピンクや出店の赤や青が風流です。桜の下の黄色い花はアクセントで効いてますね。春の空を渡ってくるパラと鯉のぼりがなんとも漫画チックで面白い。もう少し大きく写ってたら、と思いますが現実は難しいですね。[嘉納]
◇鯉のぼりを付けたモーターパラグライダーの写真は他にもあったのですが、咲き誇る桜が入っていることでインパクトのある作品となりました。車や屋台など余計なものも写ってしまっているので、もっとズームにして飛んでいるパラグライダー、後ろの森の緑、桜のピンク、空の青の部分を切り取って写していたらさらによい作品になったかもしれません。[山本]

総　評

工夫を凝らした写真を期待

審査員　嘉納 愛夏

地上撮影部門の応募がかなりありましたが、その分空撮が寂しくなってしまったようです。また、応募の規定を守っていない方が少なからずおられました。出力サイズは最低限守るべきですし、プリントした写真を三つ折で送ってきた方も…。

写真の内容的には前回よりバリエーションに乏しくなったかな？という印象です。全体を通して工夫を凝らした写真が極端に少なかったです。空撮部門の層が薄くなっているので、入賞を狙うなら確率的に次回は空撮に応募するのが早道かもしれません。ソフトで加工した写真も受け付けていますので、デザインチックな写真も増えてほしいと思います。

□フォトグラファー
http://blog.rayangle.net/

クオリティをさらに高く

審査員　山本 直洋

今回、残念ながら最優秀賞の該当者はいませんでした。

全体的に、前回よりもおとなしい作品が多かったように思います。構図やアイデアは良いのに画質が悪く、残念ながら選考に残らなかった作品もいくつかありました。

ただ、全体の平均値で考えると、前回よりも写真自体のクオリティーは上がっているように感じます。構図の決め方が得意な方はカメラとプリンタの性能アップを、写真自体のクオリティーに問題ない方は構図に独創性を持たせた撮影にチャレンジしていただければ、さらに素晴らしい作品ができると思います。

次回、さらにクオリティの高い作品が集まることを期待しています。

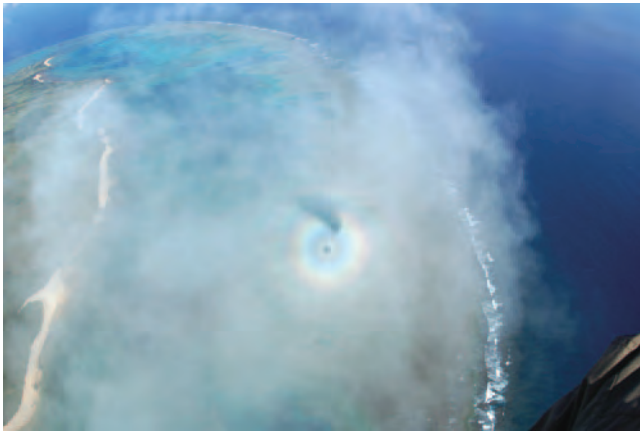
□Aerial Photogrepher
http://www.naohphoto.com/

素晴らしい写真を普及に

審査員　安田 英二郎

第2回フォトコンテストに、たくさんの方々からご応募いただきまして、ありがとうございます。美しい写真が増えて受賞作品を決めるのが難しくなりました。

ハングやパラの写真がいろいろな場面で使われて露出が増えることは、フライヤー増加につながります。素晴らしい作品を今後も期待しています。

□JHF副会長

入選（空撮）「虹の翼」

十河 真弓　撮影地：沖縄県石垣市

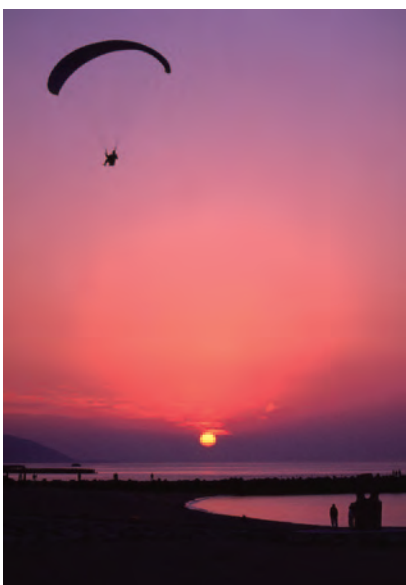
入選（空撮）「竜、発見！！」

會澤 和則　撮影地：茨城県常陸太田市天下野町

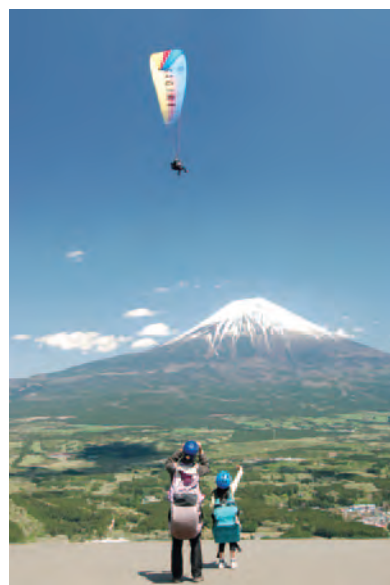
入選（地上）「沖縄パラソル」

井藤 志暢　撮影地：沖縄県南城市知念岬公園

入選（地上）「ボクも、きっといつか…！」

矢野 佐知江　撮影地：山梨県都留郡山中湖村　大平山

入選（地上）「落陽に舞う」

忽那 博史

撮影地：愛媛県伊予市双海町上灘

入選（地上）「早く飛びたいな」

望月 正晴

撮影地：静岡県富士宮市井の頭

入選（地上）「さぁ、始めるぞ！」

北川 隆司

撮影地：岡山県笠岡市　笠岡フライトエリア

J2リーグに参加しよう！

パラグライダー舞鶴・神崎カップ2012　報告：大会運営委員長　村上 貴是

9月1日・2日の週末に、京都府舞鶴市の舞鶴・神崎フライトエリアで「パラグライダー舞鶴・神崎カップ2012」を開催しました。今回は同エリアでの初めてのJHF公認大会ということで暗中模索のなかでスタート。幸いにもJHF競技委員長の岡さんに手取り足取り指導していただき、大成功に終りました。

選手は東京都、静岡県、神奈川県、埼玉県、愛知県、大阪府、兵庫県、京都府、高知県、愛媛県、岡山県、山口県、熊本県などたくさんの地域から32名の参加になりました。

初日は不安な気象コンディションで、開会式後テイクオフに移動しましたが、山頂のガスが取れない中で雨が降ってきて岡競技委員長から競技キャンセルの宣言が出されました。下山すると雨は止み、選手の皆さんはフリーフライトや観光に切り替えて楽しんでいたようです。

夜は、ある意味競技よりも楽しい「歓迎レセプション」という名の宴会で、大いに盛り上がり交流もできたと思います。神崎地区に古くから伝わる『神崎の盆踊り』を20名もの地元有志が披露、舞鶴で活躍しているJAZZバンドの演奏で、みんな輪になって踊り出していました。

2日目は待望のいい天気！　舞鶴海洋気象台の予報ではいいコンディションの情報でしたが、テイクオフの風は弱く、ゲートオープンしたものの、ほとんどの選手はウェイテング。何人かの選手がリフライト狙いで出たが……上らず。大半の選手が動き出したのは、ゲートクローズの1時間前の2時頃になりましたが、全員がフライトできて競技は成立しました。

優勝は、熊本から参加の古賀光晴選手。女子優勝は埼玉から参加の橋本泉選手でした。希望者は、舞鶴・神崎フライトエリア同好会の記念終身会員に登録されました。皆さん、10月は「飛んでいて降りられない！？神崎マジック」が発生します。ぜひその体験をするために神崎に帰ってきてください。

初めてのJHF公認大会で、準備のいたらなかった点も多かったと思いますが、岡競技委員長をはじめJHFの事務局のみなさん、地元の方々、ボランティアスタッフの方々、全国20以上のスクールの校長先生方に感謝申し上げます。みなさんのお陰で楽しく事故もなく成功しました。ありがとうございました。

古賀光晴

今はアキュラシー競技に積極的に取り組んでいますが、今回初めてJ2に参加しました。未経験の舞鶴・神崎エリアでしたので練習しようと思い、前日入りしました。残念ながら飛べませんでしたが、地元パイロットの方にとても親切にしていただきました。

このエリアでは初めてのJHF公式大会とのことでしたが、前日まで綿密に打ち合わせを行い、当日もとても良い大会運営ができていて感心しました。

競技は、条件があまり良くなくのんびりとしたテイクオフでしたが、Jリーグシードの兵（つわもの）も参加していたので、それなりに引き締まった感じとなりました。

草大会も楽しいですが、「楽しさ前提、ちょっとマジなJ2」にあなたも参加してみませんか？

優勝してしまったので、来年もここに来たいと思います。

眼下に広がる美しい景色を楽しみながら競技を。

開会式。岡競技委員長から競技ルールの説明。

２日目は好天。逸る気持ちを抑えてセットアップ。

選手も役員もおつかれさまでした。またここに帰ってきてください！

めざせ表彰台！ 日本チームに熱い声援を。

第19回ハンググライディング世界選手権開催まであと81日

2013年1月5日から18日まで、オーストラリアのフォーブスにおいて「第19回FAIハンググライディング世界選手権（クラス1)」が開催されます。

JHFハンググライディングシリーズのランキング上位から男子5名、女子2名のパイロットが選ばれ、日本代表として、世界のトップパイロットとともに競います。

出場選手が確定するのは10月8日以降ですが、有志による『ハングエイド2013』も立ち上げられ、ナショナルチームの応援を始めています。

前回のイタリア大会では国別4位、個人でも最高が4位でした。選手たちが力を出し切れるよう、そして今回こそ念願の表彰台に届くよう、みんなで応援しましょう！

なお『ハングエイド2013　日本チーム応援サイト』は、JHFウェブサイトからも見に行けます。トップページのバナーをクリックしてください。

北野正浩チームリーダーから

ハンググライディング日本代表は、昨年イタリアの世界選手権で個人4位、団体4位の成績を収めました。近年、着実に世界のトップレベルに近付いていることを実感しています。

出場選手の確定は10月の足尾の大会後になりますが、層の厚さも日本のハングの強み。誰が出ても世界を相手に互角に戦えます。

選手達が実力を発揮できれば表彰台も夢ではありません。チームリーダーとしては、日本代表の長年の目標を実現できるよう、サポートに全力を尽くします。

2011年夏、イタリアで開催された第18回ハンググライディング世界選手権より。撮影：松田保子

鈴木由路が準優勝！ マルハンWorld Challengers

「世界に挑むアスリート（特にマイナー競技）を資金面、PR面で支援し、スポーツ界の発展・振興に寄与」することを目的として実施されている『マルハンWorld Challengers』に、ハンググライディング競技で活躍する鈴木由路さんが応募、みごと準優勝しました。以下は鈴木さんの言葉です。

「今までとは違う普及の方法を模索するため他のマイナースポーツのアスリートと交流を図りました。そこでこのプロジェクトを知り、すぐにエントリー。運良く書類選考を通過し、仲間の大きな協力を得て最終公開オーディションに挑んだ結果、準優勝。審査員特別賞、230万円のスポンサーを頂くことになりました。

メディアにも取り上げられるこのプロジェクトをきっかけに、競技はもちろんのこと、ハンググライダーの素晴らしさをもっとたくさんの人に知ってもらう活動をしていきます。これからも応援よろしくお願いします」

web：http://www.athleteyell.jp/suzuki_yuji/　ブログ：http://ameblo.jp/freeroad-sky/

応援に駆けつけた仲間と。写真提供：福田武史

JHFからのお知らせ

■デジタル簡易無線機の利用について

JHFは、ハンググライディングやパラグライディングで使用する無線機として、上空および陸上利用に割り当てられた351MHz帯を使用するデジタル簡易無線機の使用を推奨しています。

この種類の無線機は、電波法施行規則による簡易無線局のデジタル化および登録制度の導入に基づき使われているものです。使用に際しては登録手続きと開設届けのみが必要で、免許・資格は不要です。

デジタルなのでクリアな音質で聞き取りやすく、5チャンネル、送信出力1W、防塵・防水性を備えています。最近発表された新型（VXD450S）では、緊急アラーム機能やGPS位置情報取得に対応できる機能もあります（近日発売される予定のGPSマイク使用の場合）。

JHF事務局では、販売代理店のご厚意により借用している5台とJHF所有の10台、計15台を用意して、会員の皆様への貸し出しを受け付けています。

貸し出しをご希望の方は、JHFウェブサイトの「登録申請・各種用紙」にある「デジタル無線機貸出依頼書」をダウンロードして必要事項を記入のうえ、JHF事務局宛にお送りください。

■PG教本基礎技術DVD領布中

197号でお知らせした基礎技術DVD「JHFパラグライディング教本基礎技術」が完成しました。

このDVDには、JHF教本のA・B級からクロスカントリーまで各課程を修了するために求められる基本的なフライト技術について、ベテラン教員による模範演技を収録しています。実際の飛行での操作を、複数の方向から近接撮影したものが2画面で表示され、各操作での動きをはっきりと見ることができ、判りやすく表現されています。リアライザーコントロールでの引きしろとブレークコードでの場合との違いや、A・Bストールを行ったときの翼の変形の様子などもわかります。

［収録されている実技］
1．旋回　45度、90度、180度（教本32、64、65頁）
2．ピッチング（63、93頁）
3．ローリング（63、93頁）
4．リアライザーコントロール（94頁）
5．両翼端折り（94、112頁）
6．フィギュアエイト（108頁）
7．片翼潰し（111頁）
8．スパイラル（126頁）
9．Aストール・Bストール（126頁）

［価格・入手方法］
領布価格は1枚1,500円（送料込）で、お申し込み30枚毎に1枚追加してお送りします。入手ご希望の方は、スクールでご購入いただくか、JHFウェブサイトにて注文書をダウンロードのうえお手続きください。

■JHF備品を貸し出しています

JHFでは下記備品の貸し出しをしています。ご希望の方は「JHFウェブサイト」→「フライヤーサポートデスク」→「登録申請・各種用紙」より貸出依頼書をダウンロードし、必要事項を記入・入力して、FAXかメールでお申し込みください。

なお、備品の返却にかかる送料はご負担をお願いします。

◇自動体外式除細動器（AED）

公認大会やイベント主催者に無料で貸し出し。申込条件：消防署や日本赤十字社等のAEDを使った救命法講習会を受講した方がいること。

◇ポロジメーター

パラグライダーキャノピー等のエアー漏れを計測する機械。スクール・クラブ等を対象に貸し出し。貸出期間は2週間以内。貸出料5,000円。

◇スカイレジャー航空無線機

スカイスポーツ専用の周波数で使う無線機（465.1875MHz）。JHF会員を対象に、大会やイベントでのご利用のために貸し出し。貸出料は1,000円／台。申込条件：ご利用者の中に「第三級陸上特殊無線技士」免許を持ち、JHF無線従事者に登録している方が1名以上いること。

◇アルコール検知器

大会やイベント主催者に無料で貸し出し。前夜の飲酒がフライトに影響することもあります。事故防止のために新たに導入しました。ご利用ください。国際航空連盟（FAI）もアンチドーピングの禁止物質にアルコールを指定しています。

■住所変更届けのお願い

JHFからお送りした登録更新案内やJHFレポートが「転居先不明」等で多数戻って来ます。また、登録更新のための会費送金手続きをコンビニでされた方、会費を口座振替にされている方へお送りした会員証も多く戻って来ています。コンビニの場合は、払込票に新しいご住所をご記入いただいても控えが事務局に届きません。銀行口座振替の場合も住所変更の連絡は来ません。

住所を変更された方は、お手数ですが下記項目をメール、FAX、郵便などでご連絡ください。

フライヤー会員No.／お名前／変更後のご住所／連絡先電話番号／メールアドレス

■各種お申込みやお問合せは JHF事務局へご連絡ください。

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟
〒114-0015　東京都北区中里1-1-1-301
TEL.03-5834-2889
FAX.03-5834-2089
E-mail : info@jhf.hangpara.or.jp
http://jhf.hangpara.or.jp/

＊賛助会員からのお知らせを同封しています。また、神奈川県在住の方には県連からのお知らせも同封しています。ご覧ください。

東日本大震災被災地復興応援プロジェクト「空はひとつ」

東日本大震災被災地への義援金を引き続き募っています。

◇義援金振込先

三菱東京UFJ銀行（銀行コード0005）
巣鴨支店（店番号770）
口座番号　普通　0017991
口座名義　公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

JHFレポート 199号
発行日：2012年10月15日
発　行：公益社団法人　日本ハング・パラグライディング連盟（JHF）
編　集：JHF事務局
印　刷：日本印刷株式会社